

平成 31 年度 いわて木材利用優良施設コンクール 応募施設

推薦者名：

☎：

FAX

メール送付先：gankiren@poppy.ocn.ne.jp

<必須記載事項> (注1)

施設名・用途(注2)		名称：		用途：	
施設の所在地・ 連絡先(電話番号)		〒			
		TEL			
連絡先	担当者名・所属				
	電話・FAX・Email	TEL	FAX	Email	
施主	事業実施主体名 (施主)				
	住所(郵便番号)	〒			
設計者	設計者名				
	住所(郵便番号)	〒			
施工者	施工者名				
	住所(郵便番号)	〒			
	登録木材関連事業者 の該当(注3)	<input type="checkbox"/> 該当あり(登録事業者名：) <input type="checkbox"/> 該当なし			
施設概要等	工期	平成 年 月 ~ 平成 年 月(竣工：平成 年 月)			
	主要構造 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 木造(<input type="checkbox"/> 軸組工法 <input type="checkbox"/> 枠組壁工法 <input type="checkbox"/> 丸太組工法 <input type="checkbox"/> その他(木造ラーメン構造) <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他			
	内装木質化	<input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない			
	防火地域等の区分	<input type="checkbox"/> 防火地域 <input type="checkbox"/> 準防火地域 <input type="checkbox"/> 法22条区域 <input type="checkbox"/> その他の区域			
	耐火建築物等の要件	<input type="checkbox"/> 耐火建築物 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(60分耐火) <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(45分耐火) <input type="checkbox"/> その他の建築物			
	階数	地上 階 ・ 地下 階			
	延面積(a)	m ²			
	建築工事費(b) (注4)	千円			
		うち補助事業費：事業名		補助金額	
		事業名		補助金額	
木材使用量(C)	m ³				
単位床面積あたりの コスト(b/a)	円/m ²		単位面積あたりの木 材使用量(c/a)	m ³ /m ²	
主な木材使用部位・ 部材と使用樹種					

<任意記載事項> (注5)

木材利用分野の拡大	新しい木質材料、木質部材の使用について	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CLT：構造耐力上主要な部分への活用（告示に基づくもの、それ以外のもの）、それ以外への部分への活用 ・ 防耐火：耐火建築物、3階建準耐火建築物、1、2階建建築物 ・ 中高層：4階建以上の建築物 等
	新しい用途、部位における木材の使用について	
	木材を加工または改良する新しい技術とその普及効果について	
	木質構造の新たな提案について	
地域材の有効活用	地域材の特色を活かした効果的かつ積極的な利用について	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域材コーディネーター」、や「地域協議会」等地域の連携体制の構築 ・ 都市部と産地との連携体制の構築 ・ 地域における木材供給情報のとりまとめ・発信 ・ 地域材の樹種、大きさ（径級、長さ等）等の特徴を活かした資材の開発 等
	地域材の特色を活かした資材の開発・普及効果について	
の 有効活用	低位利用木材の加工製品等の有効利用について	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐材、風倒木、小径木、端材等の低位利用木材の加工製品等の活用 等
	低位利用木材の利用の普及効果について	
る 新規性	他の施設の木造化に資する普及効果について	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同様の仕様・設計によるチェーンストアでの展開 ・ 維持管理や更新が容易となる設計上の工夫 ・ 長期利用に耐えうる部材の活用
	木の良さのアピールについて	
その他のアピール事項	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備コストの縮減や工期の短縮に係る工夫 ・ 劣化対策や維持管理・更新の容易性の確保のための工夫 ・ 当該建築物等の実現に当たって苦勞した点や努力した点、期せずして得られた効果 ・ 当該建築物等の建設工事を行う者のうち、地域材の調達に関わる者のクリーンウッド法に規定される登録実施機関への登録状況 ・ 地方創生に資する取組 等 	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙写真台紙へ写真を添付して下さい(注6)。 ・ パンフレット等がある場合は、参考資料として添付してください。ただし、審査に向けてアピールしたい内容等については必ず様式の記載欄に分かりやすく具体的に記載してください。 	

<写真台紙> ~1ページ目 (注6)

① 施設全景	備考
	撮影箇所、特徴、ポイント等
② 木造施設で特徴となる箇所 (例、構造面、利用面等)	備考
	撮影箇所、特徴、ポイント等

<写真台紙> ~2ページ目

③ 施設内部箇所（例、部屋、ホール、天井等）	備考
	撮影箇所、特徴、ポイント等
④ 施工途中での木構造等（あれば）	備考
	撮影箇所、特徴、ポイント等

<写真台紙> ~ 3 ページ目

⑤ その他1	備考
	撮影箇所、特徴、ポイント等
⑥ その他2	備考
	撮影箇所、特徴、ポイント等

応募様式の記載に当たっての注意事項

(注1)

「必須記載事項」は全項目の記載をお願いします。記載されていない項目がある場合は、審査対象となりませんので、ご注意ください。

(注2)

施設の用途は、

- ① 学校等施設、
- ② 研修、多目的交流等施設、
- ③ 保育園等施設、
- ④ 庁舎、事務所等施設（商業建物施設含む）、
- ⑤ 保健、保養等施設、
- ⑥ 住宅団地等施設、
- ⑦ 体育館等施設、
- ⑧ その他の施設（ガードレール、木橋、堰堤、工場建物、街づくり施設等）

のいずれかを記載して下さい。

(注3)

登録木材関連事業者とは、合法伐採木材の利用の適切かつ確実な取組みを登録実施機関に申請し登録された木材関連事業者です。JVで施行した場合、その中に登録木材関連事業者が含まれている場合は、その企業名を全て記載してください。

(注4)

建築工事費は、応募作品の躯体工事費、仕上工事費、土工・地業工事費及びこれらに係る仮設工事費の合計を記入してください（※ 電気設備工事費や機械設備工事費は含めないでください）。

(注5)

「任意記載事項」は、審査の際の材料となりますので、可能な限り具体的にわかりやすく記載してください。

(注6)

写真は、

- ① 施設全景
- ② 木造施設で特徴となる箇所（例、構造面、利用面等）、
- ③ 施設内部箇所（例、部屋、ホール、天井等）
- ④ 施工途中での木構造等（あれば）

3～6枚程度を<写真台紙>に貼り付けてください。備考欄には、撮られた箇所、特徴、ポイントを簡潔に記載ください。

当該写真がないものは空欄としてください。縦の写真は横にしてもかまいません（備考欄にその旨記載してください）。

受賞作品や一定の基準を満たした作品については、冊子用印刷に活用しますので、プリントの場合は通常のハガキサイズ（102mm×152mm）又は、Lサイズ（89mm×

120mm) で、鮮明な画像のもの（特に全景等）としてください。電子ファイルの場合は、ハガキ大の大きさでの印刷画像に耐えるもの（解像度 350 メガ以上）としてください。

その他留意事項

- ご応募いただいた作品のうち、受賞作品や一定の基準を満たした作品については、「写真で見る「木」の施設」木造事例集（冊子）に掲載することになりますが、その際、本様式に記載いただいた内容を掲載させていただくことを予定しておりますので、予めご了承ください。
- 記載内容について、事務局から詳細の確認や証拠書類を求める可能性がありますので、あらかじめご了承ください。